

2 事前調査の方法

2-3 現状調査(寒冷地域)

1) 現状調査シート ※寒冷地域では下地診断とあわせて実施してください。

① 外壁通気構法調査

	部位	調査項目	通気口の有無	備考
1	土台部	外壁通気構法による通気口・排水口があるか	あり ・ なし	
2	軒天部または小屋裏部	外壁通気構法による通気口があるか	あり ・ なし	

■ 判定結果

外壁通気構法が正しくとられています	【対 策】
外壁通気構法がとられているか不明です	
外壁通気構法がとられていません	

② 凍害診断調査

	部位	調査項目	問題の有無	備考
1	外壁	凍害が発生しているところがあるか	あり ・ なし	
2		雪・氷・ツララが張り付いていたところがあるか	あり ・ なし	

■ 判定結果

凍害が発生する可能性は低いです	【対 策】
凍害が発生する可能性があります	
壁体外部の問題で、凍害が発生しています	
壁体内部の問題で、凍害が発生しています	

③ 断熱効果診断調査（聴き取りの際確認）

	部位	調査項目	問題の有無	備考
1	室内	壁が結露したり、壁にシミやカビがあるか	あり ・ なし	
2		押入れの中がジメジメするか	あり ・ なし	
3		冷暖房が効きにくく感じるか	あり ・ なし	

■ 判定結果

断熱材は正常に機能していると考えられます	【対 策】
断熱材についてさらに調査する必要があります	

不合格の場合、改修時に注意が必要です。